11月の園だより

二〇二六年十一月
本分保育園

HP(honbun-hoikuen.com)　　Instagram　honbun_hoikuen

先月はミニミニ運動会があり、運動会気分を楽しんだ子ども達。気分も高まり、本番に向け、かけっこや障害物競技、リズムなどして運動会を楽しみに過ごしていましたよ。

さて、先日の運動会はご協力頂きありがとうございました。お天気にも恵まれ、子ども達の笑顔がたくさん見られた楽しい運動会となりました。毎年ながら思うことですが、「去年はああだったのに、今年はこうだったね～！」と、心身ともに子ども達の成長を感じられる場面がたくさん見られ、そんな子ども達の姿に、いつも感動させられます。去年よりも今年…と、子ども達の可能性は無限大∞ですね！この経験を経て、これからの成長も益々楽しみです！

昼夜の寒暖差も徐々に大きくなり、服装の調節が難しい季節です。ちまたではインフルエンザもチラホラ･･･。手洗いうがいでしっかり予防しましょうね。急な体調の変化を見逃さないように園でも気がけているところです。ご家庭でも体調の変化があるときには、連絡帳や直接、お知らせ下さいね。

行事予定

11月 12日(木)　バス遠足《福岡動物園》
(さくら･ちゅうりっぷ･たんぽぽ･うめ組)
徒歩遠足 (もも･ひよこ組)
＊詳細はバス遠足時にお伝えします。
18日(水)　ゆめみらい号･避難訓練
19日(木)　誕生会
26日(木)　年長クッキング「スイートポテト作り」

12月 4日(金)　観劇会
5日(土)　愛園作業･資源回収
17日(水)　ゆめみらい号
24日(水)　誕生会･クリスマス会

※愛園作業が12/12から12/5に変更になりました。

※ 未定…みそ作り･餅つき

12月31日～1月3日　年末年始の休園



ミニミニ運動会！

10月15日（木）の誕生会で、ミニミニ運動会をしました。かけっこ、つなひき、玉入れ、リレーなど、大盛り上がり！応援にも熱が入っていましたよ！









赤、がんばれ～！白、がんばれ～！

子どもたちの様子

ひよこ組



ミニミニ運動会でお煎餅取り競争～



お煎餅、おいしいなぁ～♥

もも組



僕が履かせてあげる～



なにしてる？

うめ組



かけっこ　がんばれ～！



転がせ転がせ～

たんぽぽ組



ゆめみらい号の本を読書中～



ブランコ楽しいね！

さくら組



つなひき　負けないぞ～！気合い入ってます！



リレー　がんばれ～！

ちゅうりっぷ組



見て見て！ダム作ってるの！



実習生のお兄ちゃんに絵本読んでもらってるよ！

冬に向けて、かぜに負けないじょうぶな体作りを心がけましょう。

インフルエンザ予防接種のシーズンです

子どもの場合は、１シーズン２回接種が標準です。接種してから、２週間以上たたないと効果が現れないので、接種するかたは、12月の流行期に入る前に済ませるようにしましょう。ただ、アレルギーのあるお子さんの場合、受けられないこともあります。医師とよく相談してください。



だいじょうぶ？ 鼻水・鼻づまり

鼻水や鼻づまりをほうっておくと、鼻やのどの粘膜が炎症を起こし、ほかの病気の原因になることもあります。鼻水・鼻づまりが気になったら、早めに病院を受診しましょう。
そして家庭では、鼻水が出たらふく、鼻がつまったらかむ、という生活習慣が身につくよう、繰り返し伝えていきましょう。



下着を着る

保温性･吸湿性を考えると、綿100%で半そでのものがいちばん。ただ、古くなると目が詰まって保温力が低下するので気をつけましょう。
Ｔシャツは、下に着るとごろごろして動きにくくなるので、下着の代わりにはなりません。

動きやすい服装で



薄手の重ね着

重ね着をすると、服と服の間に体温で温まった空気の層ができ、厚手のもの１枚着るより保温性が高まります。薄手の重ね着なら、動きやすく機能的です。

着脱しやすいもの

ファッション性よりも、ボタンやホックをはめやすく、ひとりで着脱しやすいものがよいでしょう。

健康な体作りが、かぜの予防に



気温が下がり、空気が乾燥してくると、気をつけたいかぜ。うがいと手洗いが、かぜの予防の基本です。習慣づけるようにしましょう。また、規則正しい生活で、ウイルスを寄せつけない強い体を作ることも、大きなかぜ予防になります。ご家族みなさんで、気をつけていきましょう。









YouTube、スマホを長時間見せていませんか？

～子どもの発達に影響を及ぼしている可能性が～

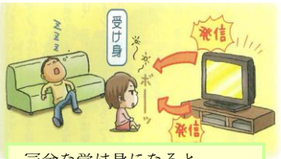
メディアの長時間接触の影響として、五感を使う体験や目を見合わせるコミュニケーションの時間が失われる事や、睡眠不足、ブルーライトの視機能への影響、肥満等、心身への影響が挙げられます。メディアの子どもへの影響も報告されています。低年齢からのメディア長時間接触が、年長児での依存につながる可能性が指摘されています。

１才６ヶ月の子どもにおいて、テレビの視聴時間が4時間以上の子どもは､3時間未満の子どもに比べて、落ち着きがなかったり、社会性の発達が遅れたりするという報告もでました。



ただテレビをつけっぱなしにするのではなく、コミュニケーションを取ることが大切

問題なのは、メディアをつけたまま、何時間も子どもをほったらかしにしたり、親が隣にいても、ずっと無視して携帯やパソコンを使ったりしている、というのがよくないのであって、大切なのはバランスです。どうしても一定時間、見せてしまうことはあると思います。ただ、メディアに任せっぱなしにするのではなく、一段落したら、しっかり子どもとあそんだり、会話したりする時間を大切にしていただきたいと思うのです。



完全な受け身になると、コミュニケーション能力が育ちにくくなります